



日刊報 日曜日 日休刊 一月廿五號 郵政特准 第一行四二號 發行所 新島郡平町大町三三 新島郡平町大町三三

ソープ・ボックスは街頭演説家のことだ、ソープ・ボックスが街頭演説の間にソープ・ボックス（石鹸）ボックス（箱）で石鹸の空箱を演説に用いたのだと云ふから出たものだと思ふ

郡教育會本年度行事及事業 計画、縣下小學校長會及び本縣教育會總會提出請願案、郡教育會總會開會、郡内小學校教務主任會開會、郡教育會主備講習會開會、青年學校教授指導員講習會開會等の諸件を協議した

一日午前十時から平支部法廷で開き、説人吉田カメヨの訊問があり閉廷、次回は来る三十日、世離れてゐると言へばそれまでだが...

待望久し平市制 けふ官報で告示

六月一日から施行 告示 昭和三十二年五月二十二日 内務大臣

平、平建三萬二千の町村民が待望の平市制施行は今日官報で告示された、明治二十二年町制施行以來實に四十九年間に及ぶ久しきに亘り、この間、水戸閣議通り第一の都府として最近では縣下の三市を凌駕する勢ひで發展して來た平町が市となつて新しき出

煙火を打揚げて 平市誕生を告ぐ

町へ村へ訣別の喜び 祝賀の催しの數々 町では二十四日市制調査委員會ならびに區長會を開き六月一日市制施行日の祝賀催しにつき打合せを行ひ、更に二十七日午後一時から町會を開き市制施行調査委員會を解散祝賀催しを正式決定する筈である

町會を開き祝賀會開催に要する豫算の追加等を附議するが、更に三十日頃急務町會を招集、後の町會となるわけである

磐城靈山萬靈廟の 拜堂上棟式

田久氏の發願漸く成る 總坪五十坪の見事なもの 石城郡赤井村の三島に建つ磐城靈山萬靈廟は同地田久彌七氏の佛心により諸佛納骨の本堂を地下空に堅牢清浄な鐵筋コンクリートを以て塔構は殿型の本堂建設を終り拜堂建築のため發願の前記田久氏が單身これに奔走されてゐたが五月二十日上棟式を挙げた同拜堂は五間に六間の建坪三十坪に二階坪二十坪のもので、同氏に志されてゐた青年連その他修養會等に應じては小圖書館をも設けたい計議に準備された總坪五十坪の建築であるが、輪環の美を共に内容等も相當見事な出来栄を見る筈

多田井家から 百五十圓 亡妻の遺志により 平町會議員多田井笑次郎氏は逝去せるかね子夫人の遺志により今二十日同町小學校外町内左記四團體に各三十圓づつ、百五十圓を寄附した

日曹小名濱工場 愈々工事に着手 來春から操業を開始 小名濱町に十五萬坪の敷地を擁して石炭液化並に硫酸製造の大工場を建設する日曹連會社では來月早々敷地地均し工事を開始、今秋十月から工場建設にとりかゝる、來春三月までに完成、直に操業開始の豫定で完成の上は従業員四百名

郡小學校長會 けふ第一校が開く 郡下小學校長會は今二十二日午前九時から平第一校で開き

鷹の巢（上遠野）堰堤 築造工事進捗

明年度に全工程を完了 一昨年十月二十七日の豪雨で山津波のため七名の犠牲者を出した外、家屋、田畑等を押流されて七萬餘圓の損害を蒙つた上遠野村大字深山田地内、松川支流鷹の巢溪澗流砂防築堤工事は東北振興土木事業として平土木監督所が工事監督に當り昨年度は五萬五千圓の工費で堰堤二本、護岸千米の築造が完成し、澗流は見違へるばかりに整理されたが更に本年度は一萬圓で二本の堰堤を築造することになり年内に完工する

青年校長會議 本郡から五名出席 二十四日から二十七日まで若松歩兵第二十九聯隊で開催される縣主催の第六回青年學校長講習會に本郡から 鈴木佐忠（植田）、黒木喜一（藤原）、田久徳次郎（小川）、金澤邦男（高久）、川口武人（渡戸）の五校長が受講者として出席する

土木中間検査 平土木監督所管内の九、十年度工事中間検査を來月初旬行ふ筈 磐城高女競技會 磐城高女では今二十二日午後一時から校庭で校内陸上競技會を開いた

金融魔の公判 インチキ金融魔：平町十五丁目一徳合會社平支店長白石隆雄（五）の第二回公判は二十

多田井笑次郎 親戚總代 草野七三之助 本馬佐源次 井上茂作 謹啓 荆妻力不儀去ル六日出産以來發病、藥石効ナク本日午前七時死去致候間御通知申上候 追々發病ハ來ル廿三日午後二時佛式ニヨリ相營可申候 昭和十二年五月廿一日

修學旅行便り 藤田女學校の 第三信 専攻科K生 一同モーターに乗り換いた浪が荒いせいか大變モーターが揺れる、ボートは進む、約一時間後漸く潮來へ着く、途中の景色は省く、一台のボートに乗りきれないため後のボートが豫定時間より遅れた潮來より又ボートに乗り込む十六島、カトウツ、十二橋の眺めはよい、確かに奇景だ、歌を詠む人もあらう、詩を物する人もあらう、されどモーターのエンジンを止めてサラサすあたり、どう考へても原始的だ、非文化的だ、スビー

トの今の世に、この村人だけはだれもローモーターはないかと思はれてならない別天地だ、世離れてゐると言へばそれまでだが...

時 郷土を把持する苦悶 (關外三區の選舉を直視して) 斯る秋、吾人の待望する一 蹂躪、擯棄するのみに狂走し、片の雄偉たる殉難義徒出でぬ、虚構、立辯を仕合ふ背刺、か、徒らに自己私慾を恣にする凶徒を討滅する氣慨のあるんが爲、代議士の名目を懸、郷土超人出づるなきか、郷土せんとして、純正選挙民權を、民衆に於ても亦然り、徒らな

農業方面

果樹園 (一)

果樹園の春の手入れは今が盛期である、早いものでは枇杷の摘果と袋掛け次では一般幼樹の製枝と云ふ基本的なことがあり、栗と柿の接木も其の時期に進入つてゐる、開花と共に病害虫の駆除もまた一と苦勞を要する特に柿の害虫「いも」はな象虫は新しい強敵として栽培者から恐れられてゐる、更に經濟的栽培方法としては園内の空地に「みづば」を栽培するなども有効なことであるが之れ等についての對策を掲げて見やう

果樹園の春の手入れは今が盛期である、早いものでは枇杷の摘果と袋掛け次では一般幼樹の製枝と云ふ基本的なことがあり、栗と柿の接木も其の時期に進入つてゐる、開花と共に病害虫の駆除もまた一と苦勞を要する特に柿の害虫「いも」はな象虫は新しい強敵として栽培者から恐れられてゐる、更に經濟的栽培方法としては園内の空地に「みづば」を栽培するなども有効なことであるが之れ等についての對策を掲げて見やう

果樹類が萌芽し開花すればこれに伴つた病害虫の活動も一般と増加して來ることは今更云ふまでもなく冬期間に嚴重な駆除を行つても病菌や害虫が若干残存するのみならず別に冬期間の宿主や其の他から襲來するものも相當にある特に桃、李、梅、櫻桃、梨、華果、ブドウ、柿、柑橘などは注意を要するもので薬剤防除の施用は地方によつて其の時期に早晚の差があり一定してゐないが薬剤の處方と適用病害虫は次の如くである、

○桃には硫酸銅加用三斗式等重石灰ボルドー液を使ふ

これは炭疽病、縮葉病、葉卷虫、蚜虫の外心折虫、葉たぐり虫の驅除によい、但し撒布は落花後にする、

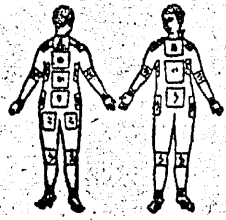
○李の薬剤は桃に準じて使用し縮葉病、袋實病、はまき虫、蚜虫の驅除に用ゐる。

看護婦
平野 幸子
電話 三〇〇七

油問屋
關内油店
特約販賣
日本株式会社
モビール油
カンリン
石油株式会社

支店 支那山形市駅前通
支店 支那山形市駅前通
支店 支那山形市駅前通
支店 支那山形市駅前通

電話 長 1 6



主効
打傷 止血 止痛 消炎 殺菌 消毒 止血 止痛 消炎 殺菌 消毒

山野邊藥局
五丁目角

北川外科
平町新川町二七 (電話四六四)

血液検査毎日
インデモ
入院デキマス

外科一般 内臓外科
レントゲン科 泌尿器科

醫師 北川芳夫
醫師 小林良次

産科、婦人科専門
根本醫院 (平町南町)

病室入院 隨時 根本庄次郎
増築手術室完備 根本貞雄

婦人科 長木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 大岩俊雄

平町新川町九一
入院隨意 病室完備 木村病院
電話一六四番

「看護見習募集」
明雲堂眼科醫院 (電話 六六九)

平町町 (三丁目裏川岸通)
入院應需 (自炊の便あり)

目科療診
一、齒科 一般
保存科、補綴科、鑲齒工科、齒列矯正科、小兒齒科、瘻管膿瘍科

一、口腔外科
一、レントゲン科

中野齒科醫院
院長 日本齒科 醫學士 中野 誠
日本齒科 醫學士 西川 誠
平町町 (松月堂向ひ) 電話五〇九番

レストラン
サロシ

食 事
喫 茶
酒場を兼ねた。

町田平 二五三電

雨の日
曇る日
照る日

兼用一御婦人用傘

色無地 ¥2.80 ¥3.80
柄模様 ¥3.00 ¥5.00

店内に澤山陳列してございます

平4 ツルヤ電140

スペイン G・H・N 元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒 1.10

婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

(平2) 西村屋藥舗 (電3)

産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二

平町新川町「電話三六九番」

和洋銅鐵、金物問屋
店商屋釜
九九・九電

内科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻喉科
レントゲン科

千町町 電話五二三番
高久病院
院長 醫學士 高久 忠